

事務事業評価(平成29年度決算) 事業一覧

部、室等	下水道部
------	------

シート番号	所属	事務事業名	H29決算 事業費(千円)	今後の事務事業の方向性
1	下水道管理課	雨水関連施設維持管理事業	34,953	継続
2	下水道管理課	管渠維持管理事業	245,722	課題付継続
3	下水道施設課	ポンプ場維持管理事業	423,352	継続
4	下水道施設課	処理場維持管理事業	355,305	継続
5	下水道管理課	下水道使用料収納関係等一般事務事業	143,914	課題付継続
6	下水道管理課	流域下水道維持管理事業	384,441	継続
7	下水道管理課	管渠整備事業	1,295,419	課題付継続
8	下水道施設課	ポンプ場整備事業	576,048	課題付継続
9	下水道施設課	処理場整備事業	279,889	課題付継続
10	下水道管理課	企業債償還事業	1,532,793	継続

平成29年度決算 事務事業評価書

所属 下水道部下水管理課

会計 一般会計

事務事業名 雨水関連施設維持管理事業

事業費 (単位：千円)	平成29年度		事業費の内訳
	予算	決算	平成29年度 決算
39,271		34,953	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費 消耗品費 10 光熱水費 3,302 修繕料 468 ・役務費 通信運搬費 115 ・委託料 委託料 13,451 ・工事請負費 改良工事請負費 13,635 補修工事請負費 3,877 ・原材料費 諸材料費 95

概要	実施内容等	<p>説明</p> <p>本市域内の内水排除等にあたり、公共下水道で行うものを除き、当該事業において、主に以下のものを行う。 【浸水対策ポンプ場の維持管理等】 下水道管渠が対応している降雨量(1時間あたり54.4mm)以上の雨水により発生する浸水被害等を軽減するため、浸水対策用ポンプ(※)の老朽化による運転不能、揚水能力の低下等を未然に防ぎ、大雨時には的確な運転を図るとともに、家屋への浸水を防ぐため、土のうの配布などを行う。 ※浸水対策用ポンプ：マンホール内に設置されており、雨水が管渠から溢れ浸水することを防ぐために、ある程度の水位に達すると水路等へ排水するマンホールポンプをいう。 【用排水路の維持管理】 複数市にまたがり流れている幹線水路は、淀川左岸用水管理施設維持管理事業にて維持管理を行っているが、幹線水路から枝分かれし各市を流れている水路については各市で維持管理を行うこととなっている。他市と隣接する水路の管理は協定を交わし維持管理の基準を取り決めている。 この水路は農業用水の供給施設としての役割と、遊水池としての機能も合わせ持つ施設であるため、適正な維持管理を行い保水、遊水機能の確保、生活環境の衛生向上を図る。</p>
	事業費詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 [ポンプ設備電気使用料 3,302千円] ・委託料 [ポンプ施設点検業務委託 2,830千円] [水路草刈等業務委託 10,579千円] など ・改良工事請負費 [ポンプ通報機器設置工事 12,749千円] [浸水対策ポンプ更新工事 886千円] ・補修工事請負費 [幹線水路側道補修工事 2,927千円] [水路土留・防護柵補修工事 950千円] など
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	<p>基本目標等</p> <p>自然環境と調和し共生する安全・安心なまち</p> <p>施策の大綱 (基本的な方向性)</p> <p>安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備</p>

今後の事務事業の方向性	継続	平時からの維持管理及び降雨時の対応の効率化などを図っており、今後も浸水被害の軽減及び施設の適正な維持管理に努める。
-------------	----	---

平成29年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水道事業会計
----	---------

事務事業名	管渠維持管理事業
-------	----------

	平成29年度		事業費の内訳
	予算	決算	平成29年度 決算
事業費 (単位：千円)	262,976	245,722	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費 109,160 ・消耗品費 457 ・被服費 37 ・燃料費 362 ・印刷製本費 18 ・光熱水費 129 ・使用料 1,736 ・委託料 70,892 ・工事請負費 59,907 ・材料費 2,893 ・雑支出 131

概要	実施内容等	<p>説明</p> <p>本市は、市民の衛生的な生活環境の維持、浸水の防除のため昭和26年から下水道管渠の布設に取り組んでおり平成10年には普及率が約100%にまで達しているが、年数を経て老朽化した管渠が増加している。 この事業では、社会基盤施設の性能を確保するため、下水道管渠の清掃、補修工事や、下水道法に基づいた特定施設からの排水の指導などの適切な維持管理を行う。</p>
	事業費詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料 [気象情報提供業務等 1,001千円] ・委託料 [下水道管渠浚渫業務委託等 43,828千円] [下水道管渠清掃業務委託 11,669千円] [下水道管渠調査業務委託 4,193千円] [市民受付浚渫業務委託 5,065千円] [水質分析業務委託 3,502千円] など ・工事請負費 [下水道管渠維持補修工事 58,953千円] など
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	<p>基本目標等</p> <p>自然環境と調和し共生する安全・安心なまち</p> <p>施策の大綱 (基本的な方向性)</p> <p>安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備</p>

今後の事務事業の方向性	課題付継続	老朽化が進み、道路陥没が増加傾向にあることから、今後、別事業で実施予定の道路空洞調査の結果も踏まえ、適正な維持管理に努める。
-------------	-------	--

平成29年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水道事業会計
----	---------

事務事業名	ポンプ場維持管理事業
-------	------------

	平成29年度		事業費の内訳
	予算	決算	平成29年度 決算
事業費 (単位：千円)	465,215	423,352	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費 27,458 ・消耗品費 117 ・薬品費 47 ・燃料費 13 ・光熱水費 7,568 ・修繕費 185 ・通信運搬費 1,336 ・手数料 52 ・委託料 300,119 ・工事請負費 35,994 ・材料費 69 ・動力費 50,394

概要	説明	<p>本市は傾斜千分の一程度の平坦な地形のため雨水の自然排水が困難であり、汚水についても処理場へ送水するためにはポンプによる揚水(圧送)が必要であるため、大枝ポンプ場(昭和43年供用開始)、八雲ポンプ場(昭和44年供用開始)、梶ポンプ場(昭和51年供用開始)の3ポンプ場を設置して、雨水及び汚水を排水している。</p> <p>また、早期に下水道事業に着手したため、各施設は老朽化が進み、計画的な補修が必要となっている。</p> <p>この事業では、汚水を適切に処理するとともに、雨水の速やかな排除により、安全・安心な暮らしを支えるため、ポンプ場の排水能力を確保した上で適切な維持管理を行い、市民の衛生的な生活及び水害防除機能の確保を目指すもの。</p>
	実施内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・委託料 [大枝ポンプ場運転操作等業務委託 68,418千円] [八雲ポンプ場運転操作等業務委託 57,834千円] [梶ポンプ場運転操作等業務委託 62,156千円] など ・工事請負費 [八雲ポンプ場計装設備補修工事 5,886千円] [大枝ポンプ場ほか計装設備補修工事 3,672千円] [梶ポンプ場ほか雨水ポンプ用原動機補修工事 3,631千円] など ・動力費 [電気料金 48,833千円] [燃料費 1,562千円] など
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	<p>基本目標等</p> <p>自然環境と調和し共生する安全・安心なまち</p> <p>施策の大綱(基本的な方向性)</p> <p>安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備</p>

今後の事務事業の方向性	継続	今後も適正な維持管理に努める。
-------------	----	-----------------

平成29年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水道事業会計
----	---------

事務事業名	処理場維持管理事業
-------	-----------

	平成29年度		事業費の内訳
	予算	決算	平成29年度 決算
事業費 (単位：千円)	382,602	355,305	・人件費 41,318 ・消耗品費 410 被服費 18 薬品費 4,864 燃料費 117 光熱水費 4,457 修繕費 210 通信運搬費 892 手数料 29 使用料 14 賃借料 126 委託料 227,095 工事請負費 23,621 材料費 112 動力費 52,022

概要	実施内容等	説明
		<p>本市の下水道事業は西三荘雨水幹線を境に、単独公共下水道である守口処理区(昭和27年度事業認可)と寝屋川流域関連公共下水道である鴻池処理区(昭和43年度事業認可)に分かれており、守口市下水終末処理場では守口処理区の汚水を処理している。また、汚水処理に伴って発生する下水汚泥については効率化を図るため流域下水道へ処理委託を実施している。</p> <p>本市では早期に下水道事業に着手したため、現在稼働中の処理場は昭和47年供用開始と老朽化が進んでおり、計画的な補修が必要となっている。</p> <p>また、終末処理場は水質汚濁防止法上の特定施設にあたり、同法の一律排水基準や大阪府の上乗せ基準等による規制を受けており、公共用水域の水質保全のため基準の遵守が求められている。</p> <p>この事業では、当該守口市下水終末処理場の適切な維持管理及び運転を行い、市民の衛生的な生活環境を維持し、公共用水域の水質保全に寄与するもの。</p>
	事業費詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・委託料 [下水汚泥処理委託 112,955千円] (寝屋川北部流域下水汚泥処理事業) [守口処理場運転操作等業務委託 100,462千円] [水質分析業務委託 3,527千円] など ・工事請負費 [守口処理場A系バイパスゲート補修工事 7,884千円] [守口処理場計装設備補修工事 3,996千円] [守口処理場B系返送汚泥ポンプNo.2補修工事 2,592千円] など ・動力費 [電気料金 51,829千円] [燃料費 193千円] など
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	<p>基本目標等 自然環境と調和し共生する安全・安心なまち</p> <p>施策の大綱(基本的な方向性) 安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備</p>

今後の事務事業の方向性	継続	今後も適正な維持管理に努める。
-------------	----	-----------------

平成29年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水道事業会計
----	---------

事務事業名	下水道使用料収納関係等一般事務事業
-------	-------------------

	平成29年度		事業費の内訳
	予算	決算	平成29年度 決算
事業費 (単位：千円)	187,690	143,914	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費等 58,940 ・消耗品費 165 ・印刷製本費 118 ・修繕費 976 ・通信運搬費 557 ・保険料 1,153 ・委託料 77,210 ・負担金 613 ・交付金 384 ・研修費 264 ・公租公課費 122 ・その他 3,412

概要	説明	下水道事業の財源となる下水道使用料の収納事務、下水道事業の経営に関する事務を行い安定的な運営を図る。
	実施内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・委託料 [下水道使用料徴収委託 75,400千円] [企業会計システム保守等 1,810千円] ・負担金 [下水道協会会費・汚染負荷量賦課金等 613千円] ・研修費 [酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習等 264千円] など
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	基本目標等 自然環境と調和し共生する安全・安心なまち 施策の大綱 (基本的な方向性) 安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備

今後の事務事業の方向性	課題付継続	引き続き適切な収納に努める。 また、長期的に使用料収入が減少しており、今後の事業の持続可能性を高める観点から、老朽化する下水道施設のストックマネジメントと一体となった経営戦略の策定を進める。
-------------	-------	--

平成29年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水道事業会計
----	---------

事務事業名	流域下水道維持管理事業
-------	-------------

	平成29年度		事業費の内訳
	予算	決算	平成29年度 決算
事業費 (単位：千円)	391,296	384,441	・負担金 384,441

概要	実施内容等	説明	流域下水道は、広域的に河川等公共用水域の水質保全及び浸水防除を目的として、本市を含む9市の汚水を処理し、市民の衛生的な生活環境の維持を図る。 守口市では排水の処理区域が、鴻池処理区と守口処理区の2つに分かれており、鴻池処理区の排水は流域下水道の処理場へ送られ処理されている。 なお、守口処理区の排水については守口処理場へ送られ処理された後、排水の処理した際に発生する下水汚泥を守口処理場から流域下水道の処理場に送り処理されている。
		事業費詳細	・負担金 [流域下水道施設維持管理費負担金 277,777千円] [流域下水汚泥処理施設維持管理費負担金 106,664千円]
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	基本目標等	自然環境と調和し共生する安全・安心なまち
		施策の大綱 (基本的な方向性)	安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備

今後の事務事業の方向性	継続	今後も適正な維持管理となるよう努める。
-------------	----	---------------------

平成29年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水道事業会計
----	---------

事務事業名	管渠整備事業
-------	--------

	平成29年度		事業費の内訳
	予算	決算	平成29年度 決算
事業費 (単位：千円)	1,528,427	1,295,419	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費 25,118 ・備消耗品費 360 ・被服費 8 ・燃料費 38 ・使用料 111 ・賃借料 684 ・委託料 30,283 ・工事請負費 1,238,817

概要	説明	<p>本市は、市民の衛生的な生活環境の維持、浸水の防除のため昭和26年から下水道管渠の布設に取り組んでおり普及率が約100%にまで達しているが、年数を経て老朽化した管渠の改築更新が必要となっている。</p> <p>そこで、管更生工法等により管渠の適正な改築更新を行うこと、また下水道総合地震対策計画(※)に基づき地震・浸水被害等に備えた新たな施設整備によって機能を維持するとともに、今後発生する大災害等に対応する能力の確保を目指すもの。</p> <p>※下水道総合地震対策計画とは、重要な下水道施設の耐震化を図る「防災」と、被災を想定して被害の最小化を図る「減災」を組み合わせた総合的な地震対策を推進するための事業計画</p>
	実施内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・賃借料 [土木工事積算システム賃貸借等 684千円] ・委託料 [設計積算・工事監理業務委託 12,571千円] [老朽管調査業務委託 7,128千円] など ・工事請負費 [下水道改築工事 264,762千円] [下水道管渠耐震化工事 159,938千円] [松下菊水放流幹線築造工事(H29～H31) 454,480千円] など
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	<p>基本目標等</p> <p>自然環境と調和し共生する安全・安心なまち</p> <p>施策の大綱 (基本的な方向性)</p> <p>安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備</p>

今後の事務事業の方向性	課題付継続	耐用年数を勘案した適切な更新を行えるよう、ストックマネジメントを行う。
-------------	-------	-------------------------------------

平成29年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水道事業会計
----	---------

事務事業名	ポンプ場整備事業
-------	----------

	平成29年度		事業費の内訳
	予算	決算	平成29年度 決算
事業費 (単位：千円)	646,700	576,048	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費 29,854 ・委託料 2,052 ・工事請負費 544,142

概要	実施内容等	説明	本市は、市民の衛生的な生活環境の維持、浸水の防除のため昭和26年から下水道事業に取り組んでおり、現在の施設は大枝ポンプ場が昭和43年、八雲ポンプ場が昭和44年、梶ポンプ場が昭和51年、寺方ポンプ場が昭和41年の供用開始であり、各施設の老朽化が進む中、維持管理の段階から改築の段階を迎えていることから、計画的な更新によって機能を維持するとともに、今後発生する大災害等に対応する能力の確保を目指すもの。
		事業費詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・委託料 [大枝ポンプ場耐震補強工事(その2)施工監理業務委託 2,052千円] ・工事請負費 [大枝ポンプ場耐震補強工事 399,801千円] [八雲ポンプ場汚水ポンプNo.3吐出弁取替工事 6,912千円] [寺方ポンプ場汚水ポンプNo.1・2用吐出弁ほか取替工事 5,486千円] など
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	基本目標等	自然環境と調和し共生する安全・安心なまち
	施策の大綱 (基本的な方向性)	安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備	

今後の事務事業の方向性	課題付継続	耐用年数を勘案した適切な更新を行えるよう、ストックマネジメントを行う。また、ポンプ場の老朽化による更新については、PFI等による改築更新を視野に入れ早期に検討する。
-------------	-------	--

平成29年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水道事業会計
----	---------

事務事業名	処理場整備事業
-------	---------

	平成29年度		事業費の内訳
	予算	決算	平成29年度 決算
事業費 (単位：千円)	288,139	279,889	人件費 25,108 工事請負費 254,781

概要	実施内容等	説明	本市は、市民の衛生的な生活環境の維持、公共用水域の水質保全のため昭和26年から下水道事業に取り組んでおり、現在の施設は昭和47年に供用開始した施設で老朽化が顕著です。 老朽化等による機能停止は処理水質の維持及び水質保全に大きな影響があるため、適正な改築更新を行うことにより基本目標の達成を図る。
		事業費詳細	・工事請負費 [守口処理場送風機設備工事(機械)(H28~H29) 200,860千円] [守口処理場送風機設備工事(電気)(H28~H29) 47,560千円] など
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	基本目標等	自然環境と調和し共生する安全・安心なまち
		施策の大綱(基本的な方向性)	安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備

今後の事務事業の方向性	課題付継続	耐用年数を勘案した適切な更新を行えるよう、ストックマネジメントを行う。また、単独処理場のあり方について、広域化等も含めて、その方向性を示す。
-------------	-------	--

平成29年度決算 事務事業評価書

所属	下水道部下水管理課
----	-----------

会計	下水道事業会計
----	---------

事務事業名	企業債償還事業
-------	---------

事業費 (単位：千円)	平成29年度		事業費の内訳
	予算	決算	平成29年度 決算
	1,245,430	1,532,793	企業債償還元金 1,245,429 企業債利息 287,364

概要	実施内容等	説明	下水道施設の建設に伴い、金融機関等から借入れている起債について償還事務を行う。長期の返済を見据え、計画的に借入を行うことを目指すもの。
		事業費詳細	・企業債償還元金 1,245,429千円 ・企業債利息 287,364千円
	「第五次守口市総合基本計画」における施策体系	基本目標等	自然環境と調和し共生する安全・安心なまち
		施策の大綱 (基本的な方向性)	安全・安心な暮らしを支える生活環境の整備

今後の事務事業の方向性	継続	中長期的な経営状況を考慮して、減価償却費とのバランスに留意した借入方法を検討するなど、引き続き持続可能な経営に取り組む。
-------------	----	--